

# 関魂

1 学年進路通信 6 号  
2024 年 12 月 23 日

## ★「人」「本」「旅」

『良いアイデアは「人」「本」「旅」から。』

ライフネット生命保険株式会社の創業者であり、立命館アジア太平洋大学の元学長でもある出口治明さんの言葉です。イノベーションやアイデアを生み出すには、新しい情報を常にインプットし続ける必要があります。そのインプットの方法が「人」「本」「旅」である、と多くの著書や講演の中で述べられています。たくさんの「人」と出会い、たくさんの「本」を読み、たくさんの「旅」（現場で体験をすること）をして、多様な考え方に触れる。豊かな発想力は、こうした経験の中からこそ養われていくものです。みなさんも今年、NCAや講演会、セミナーを通して多くの「人」と出会ってきました。その出会いの中に人生を豊かにするたくさんの学びがあったのではないのでしょうか。

## ★「キャリアセミナー」開催！

11月15日、各業界でご活躍されている社会人13名を講師としてお招きし「キャリアセミナー」を開催しました。講師の方の熱いお話を真剣に聴くみなさんの表情が印象的でした。みなさんの感想を一部抜粋して紹介します。

### 〈法曹〉講師 秋山二郎 様（秋山法律事務所）

- ❖「法と言葉と証拠で他人を説得し、権利を守る」ことが弁護士の仕事だと聞いてカッコいいと思ったし、興味深い仕事だと改めて感じた。
- ❖弁護士はさまざまなトラブルや事件に関わる仕事なので、広い視野を持って多くの知識を身につけておかなければいけないと思った。

### 〈金融・経済〉講師 林田あゆみ 様（山口フィナンシャルグループ）

- ❖銀行の仕事は社会全体とつながっているということが分かった。人に寄り添って、その人の課題を引き出し、それに合ったソリューションを提供しているところに魅力を感じた。お金は人のドラマと結びついていてすごい世界だと思った。

### 〈公務員〉講師 馬場教義 様 田原良浩 様（下関市役所）

- ❖市の活性化のプロジェクトや国際交流の仕事は、自分がイメージしていた市役所での仕事のイメージとは違い、とてもアクティブでやりがいがありそうだった。
- ❖街に関わる仕事なので、結果が目に見え、形に残せるところが良いと思った。

### 〈マスコミ〉講師 十川賢次 様（山口朝日放送）

- ❖ニュースで何気なく流れている映像の裏には、たくさんの人の努力と熱意があることが分かった。小さい頃から大好きだったテレビの番組を創るという立場になる選択肢があることに気づかされた。
- ❖自分で見て、自分でトライして、自分で感じたことを、自分の言葉と自分の観点で伝えることを大切にしてみたい。

### 〈教育〉講師 竹内康徳 様（下関市立安岡中学校）

- ❖「教員は生きる教材」という言葉が心に残った。大変そうだったけど、子供たちの背中を陰ながらそっと押すことのできる素敵な職業だと思った。
- ❖私が小学校教師になりたいと思ったきっかけを思い出すことができた。笑顔で生徒に信頼される先生になるために普段からポジティブを意識したい。



### 〈建築〉講師 田尾繁太 様 (田尾設計)

☞「働く」とは「傍」を「楽」にする、つまり、自分の得意な分野で周りを楽しませるということで、楽しんでもらった人が対価としてお金を渡すのだと教えてもらった。建築に必要なのは、課題を発見する能力だと聞いたので、その能力を高めていきたいと思った。

### 〈工学研究〉講師 植田和茂 様 (九州工業大学)

❖ 私たちの身の回りにあり、便利だと思って使っているものは、誰かのひらめきや長年の研究によるものであると知って感動した。身の回りのもので社会に貢献したいという思いがすばらしいと思った。

❖ 大学、これからの人生で自分がやりたいと思うことをやろうと思える原動力になった。知識をつけることも大切だが、常に考えることの大切さが分かった。

### 〈エンジニア〉講師 松原千恵 様 (三洋コンサルタント)

☞エンジニアにはそれぞれ専門とする分野がたくさんあることが分かった。人々の生活や自然環境をより良くするために日々仕事をされていることが分かった。近年は自然災害が多く、防災や自然との共生のためにこれからより社会で大切にされる仕事であり、やりがいを感じられる職業だと思った。

### 〈カウンセラー〉講師 杉本正志 様 (スクールカウンセラー)

❖ 人の心に寄り添うことが心理の仕事をする上で大切であると学べた。本などの文学に触れたり、今ある勉強に取り組んだりして自分の将来を広げていきたい。

❖ 人の心と関わっていく上で、まずは自分の価値観や思考のくせを分析して、自分をよく知ることが必要だと思った。心理職には高い専門性が必要だと分かった。

### 〈医師〉講師 中島健吾 様 (長門総合病院 産婦人科)

☞責任が大きい仕事であることに恐れを感じていたけど、それをやりがいとしてポジティブに考えていくことが大切だと思った。医師になるまでの努力量は測り知れないと感じた。今勉強していることや努力していることが将来の自分のためになっていると信じて頑張りたい。医師という職業はカッコいいなと思った。

### 〈医療系技師〉講師 谷川良博 様 (令和健康科学大学)

❖ 作業療法士、理学療法士、言語聴覚士についてよく分かり、これらの職種について興味を持つきっかけになった。作業療法士は現在人数が少ないが、少子高齢社会においてより求められるようになり、重要になってくる職であると知った。

❖ 子どもからお年寄りまで、「作業療法士」が関われる仕事の豊富さに驚いた。刑務所での仕事もあることを知った。障害を負ってすぐの患者の精神面を支える大切な仕事だと思った。

### 〈薬剤師〉講師 大西利彦 様 (下関医療センター)

☞薬剤師には、知識以外にも、コミュニケーション能力、気力、体力など大切なことがたくさんあると分かった。

☞英語、数学、化学、生物(物理)と薬学を学ぶ上で理系科目がやっぱり重要なので、今は苦手なことも多いけど、頑張ろうと思った。患者さんに親身に寄り添い、丁寧な説明をし、良い相談相手になれるような薬剤師になりたいと思った。

### ★講師の先生方より (一部抜粋)

- ・案内をしてくれた生徒も受講中の生徒の態度もとても気持ちの良いものでした。
- ・生徒さんたちの一生懸命な姿勢が伝わってきました。私自身も勉強させていただきました。

(文責 伊藤)

